

畜 産 学

学科	シラバス(概要)	
コース		
履修条件	高位平準化・公的資格カリキュラムを履修した者	
ユニット	畜産学概論	
科目名	酪農実習	
単位		
履修時間	45時間	
授業形態と時間数	対面授業 5時間 実習・見学 40時間	
作成者	評価方法	
教科書	対面授業5時間目に確認度確認テストを実施する。75%以上正答の受講者には修了証が発行される。	
参考図書	①平成28年度成果物畜産概論テキスト ②図解 酪農・畜産業の基礎 ③乳牛の扱い方・乳牛の仕組み(乳牛管理作業事故防止に向けて) ④牛舎と付帯施設(酪農の用語を知る) ⑤ 環境整備の取り組み(安全・安心を届けるために)	

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	乳牛とは	1.シラバスとの関係	乳牛の役割ならびに特性を説明	
		2.コマ主題	生乳生産の仕組みおよび作業を理解する。	
		3.コマ主題細目	①家畜としての牛、②泌乳生理、③重要な管理	
		4.コマ主題細目深度	家畜化された飼養管理作業の特徴について理解する。	
		5.次コマとの関係	実際の生産現場の状況を理解する。	
2	乳牛の扱い方・乳牛の仕組み	1.シラバスとの関係	乳牛のハンドリング・乳牛の仕組みの説明	
		2.コマ主題	乳牛管理作業上の事故防止を理解する。	
		3.コマ主題細目	①乳牛の特徴、②農作業の事故、③対策法	
		4.コマ主題細目深度	酪農場の現状について理解する。事故防止と観察法を知る。	
		5.次コマとの関係	実際の生産現場の状況を理解する。	
3	牛舎と付帯施設	1.シラバスとの関係	酪農用語の説明	
		2.コマ主題	酪農経営に要する構築物及び役割を理解する	
		3.コマ主題細目	①畜舎の種類・構造 ②搾乳施設 ③糞尿処理 ④粗飼料確保	
		4.コマ主題細目深度	牛が飼養されている環境についてイメージができるようになる	
		5.次コマとの関係	実際の生産現場の状況を理解する。	
4	環境整備の取り組み	1.シラバスとの関係	牛・人にとって快適な環境を説明	
		2.コマ主題	乳牛の能力を最大限に引き出す環境を説明	
		3.コマ主題細目	①カウコンフォート ②食品衛生を厳守 ③農場景観	
		4.コマ主題細目深度	消費者への安全・安心を届ける、バイオセキュリティの取り組みを知る。	
		5.次コマとの関係	実際の生産現場の状況を理解する。	
5	酪農体験実習まとめ	酪農体験実習確認テスト	実習確認テスト・畜産学研修農場対面学習確認テスト	
		酪農体験研修まとめ	質疑応答・まとめを発表	
時間数	見学・実習の区分	研修内容	体験研修詳細内容	指導者
見学 (総数として16時間)	関連組織見学	酪農経営に必要な組織を視察	JAの活動・サポート協会・酪農ヘルパー	
		関連組織の活動を理解する	生乳検査協会・乳牛家畜市場・ジェネティクス北海道	
		組織の役割・内容を知る。	農場視察研修・放牧酪農家・フリーストール酪農家・搾乳ロボット酪農家	
		酪農全体像を理解する。		
実習 (総数として24時間)	酪農体験実習	実際の酪農実習	牛舎清掃・牛床掃除・餌寄せ・糞作業	
		乳牛管理作業全体を理解する。	仔牛管理・ミルク、スターター給与・検温・便の確認・育成牛管理	
		管理作業の要点・方法を知る。	搾乳体験・キャリロボ搾乳	
		まとめと確認テスト	酪農ヘルパー体験(放牧・フリーストール・搾乳ロボット酪農家)	
			AI 人工授精業務-同行	